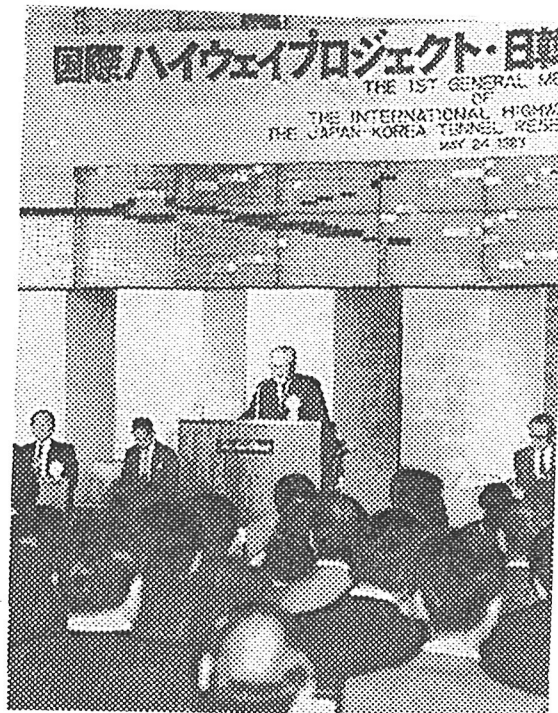


△△
韓国へハイウエー
青函トンネルの建設技術を生か

して日本―韓国をトンネルで結ぶ
う、という「国際ハイウェイプロ
ジェクト・日韓トンネル研究会」



の設立総会が二十四日夜、東京都内のホテルで開かれた。写真。同トンネルは、佐賀県唐津市と韓国・釜山間約二百キロを海底トンネルで結び、そこに高速鉄道かハイウエーを通し、さらに朝鮮半島からユーラシア大陸を横断、英国に至る国際ハイウエーという雄大な構想の「出発点」だという。もともと戦前から国鉄技術陣によって立てられたプランだが、日韓両国関係者の手によって今回研究会設立となった。

すでに唐津市に調査事務所も設けられ、今後本格的な調査に取り組むが、この日会長に選任された佐々保雄北大名誉教授は「青函の技術を上回る技術も必要だが、ぜひ実現して世界平和に役立てたい」と抱負を語った。